

ステンレス製防振継手 施工要領書

A・V・JOINT



施工手順

1. 作業前の確認

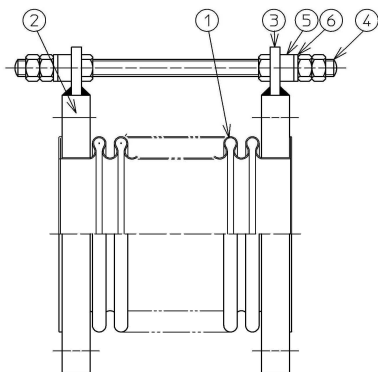


表1 部品表

品番	部品名	材質
1	ベローズ	外層SUS304 内層SUS316L
2	フランジ	SS400
3	ホルダー	SS400
4	タイロッドボルト	SS400
5	緩衝材	無機繊維
6	ワッシャー	SS400

施工前に次の事項についてご確認下さい。

- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無い

2. 配管への取り付け

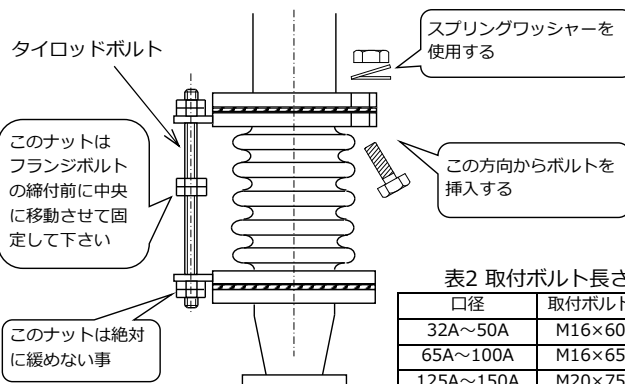


表2 取付ボルト長さ

口径	取付ボルト長さ
32A~50A	M16×60mm
65A~100A	M16×65mm
125A~150A	M20×75mm
200A	M20×80mm
250A~300A	M22×85mm

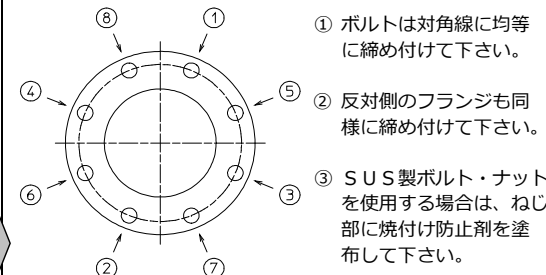
表2はJIS10KF・平座金、ばね座金なしの長さです。ご使用する座金の厚みを加算して下さい。

- ① ホルダー内側のナットを、中央で固定して下さい。
- ② ガasketをシール面からずらさないように、またシール面を傷つけないよう製品を配管フランジ間にセットして下さい。
※ 全面gasketを推奨します。
- ③ 製品側から配管側へ向かって、ボルトを挿入して下さい。また、ナットの緩みを防止するため、スプリングワッシャーを使用して下さい。

⚠ タイロッドボルトは取り外さないで下さい。

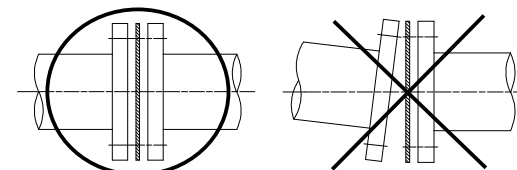
3. ボルトの締め付け

ボルト締め付け順

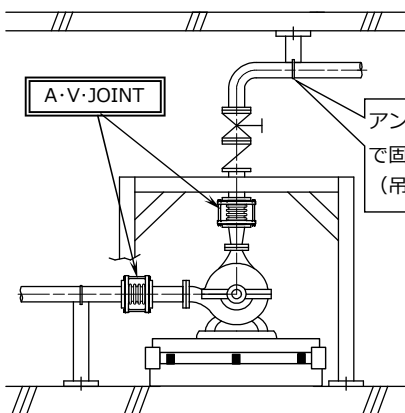


- ① ボルトは対角線に均等に締め付けて下さい。
- ② 反対側のフランジも同様に締め付けて下さい。
- ③ SUS製ボルト・ナットを使用する場合は、ねじ部に焼付け防止剤を塗布して下さい。

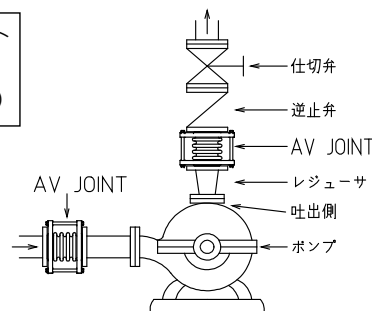
⚠ フランジ面が平行である事を確認の上、締め付けて下さい。



設置例



ポンプ廻りの吐出側については、レジャーサ、製品、逆止弁、仕切弁の順に取り付けて下さい。



⚠ 注意事項

- 本製品は、軸直角変位を吸収するためのものではなく、振動を吸収するためのものです。軸直角変位は考慮できないものとしてご使用下さい。
- 配管の固定が不十分な場合、配管が共振する恐れがありますので、A・V・JOINTの近くでしっかりと固定支持を行って下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速（内径基準）が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- プール水循環用ポンプ、特殊液体(薬液等)には、ZTF-5000、ZRJ-BTをご使用下さい。
- ボルトの締付の際には、片締め・締め込み過ぎにならない様に施工願います。